油豆行情（中曆十二月十七日）
青豆價錢六吊川百七十文至六吊二百文
合豆價錢五吊六百文至五吊四百五十文
小米價錢七吊六百文至七吊二百七十文
紅糧價錢五吊五百文至四百五十文

全　全　全　同十一圓
傘　全　九罐入　同五圓
全　全　全　同四圓
赤味噌　全　大樽　同九圓三十錢
札幌麥酒　四打入　同九圓八十錢
蜂印香竄葡萄酒　全　同二十二圓五十錢

鯛　全　同十三圓五十錢
全蒲燒　全　同二十三圓
筍　二打半　同八圓五十錢
梨　四打　同十一圓
桃　全　同九圓五十錢
人形ミルク　全　同十二圓五十錢

一中等塊炭　全　十五圓五十錢
一全切込　全　十四圓五十錢
澤鶴　正味四斗四升入　十七圓
サツポロビール　九圓七十錢
（宅合名會社調査）

... per 6 months.
Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料
一ヶ月以上　一ヶ月以内　銀十五仙乃至十仙
一長期連掲減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及逐報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分　券月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

特別廣告
▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室
　　　百八番　事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街ブッシ商會東
川喜鐵工場

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Engineer.
Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

寸時を待たず營業をなし得べし
讓渡廣告
奉天府重要市街旅館料理店
一棟數　四棟
一間數　十五室
一和洋料理諸器具其他附屬物一式　有姿の儘
全附近大街路通
一棟數　一棟
一間數　七室
一洋食諸器具一切附屬品共　有姿の儘
右御望の諸君は左記下名迄御通報委細面談
營口元神廟街　彌生館方　二宮

三井洋行
倉庫部
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
●精製白砂糖新入荷物あり
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分荘
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院内分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋陂鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
總司理人　田中賴之助謹白

∴東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

∴東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

∴西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

∴仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

∴恒有長
本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己幷另設銀爐包營鎔鑄以應急需久爲　中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

∴元茂盛
油坊買賣元荳荳油荳餅雜色粮石以及代客辦雜貨布疋一概發行裝運沙糖煤炭易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

∴德商　瑞生洋行
啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮溝西本行主人啓

∴代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（槵利）百合花牌（利利）均已馳名內外兹特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

∴田中牛莊分莊
啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東洋緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面闆是幸
田中牛莊分莊謹啓

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任産婆大道しげ子）
院主　森　矯
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所
大連市磯岐町三百三十八號　日華運輸公司
遼陽　遼陽俱樂部　谷口今朝太郎

西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四一（森病院三軒目）

寫眞　永清
奉天府　大南門裡路西

島田洋服店
東營口郵便局東隣
同支店
新民屯停車場前

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸
但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一海關手續
一鈔關手續
但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

隆慶公司
開設在東閣門外自有碼頭恬豊木局以西南近馬路德記木局以北發售唐山大小塊砟子貨美價廉裝卸舟車極便凡賜顧者請認明招牌庶不致誤謹啓

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

各種材木
廉價大販賣
壚川商會
營口永世街二一本町

∴和泉洋行
本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡　中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

飯塚工程局
材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

材木販賣
荒物
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

∴日商　東來醬園
本醬園開創在營口双橋子南有年係請大日本著名工師自造加意製出故其色麗質淨味美氣芳可以供上等烹飪之用其價値甚廉非尋常市油所得而及蓋用市造之油烹物之費多而鹽梅之効少若用此油則醬味調和必不特于衛生之道受益不少衆爲厚生利用之妙品也賜顧紳商請嘗試之立知本醬園所言非誇張之談矣
本園主人謹白

代理
道勝銀行
啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商　瑞記洋行代理人謹啓

貸金業
確實なる擔保品には精々勉强安利を以て御相談に應ず
南永世街三十六號
質屋　富田茂治

東京電報

●法制局長官の任命　（一月十三日特別通信員發）
法科大學教授法學博士岡野敬次郎法制局長官に任命せらる

●奥大將の戰况奏告
第二軍司令官奥大將及梨本宮殿下參内せられ戰况奏告の節陛下より金品の恩賜あり

●土屋中將の轉補
第十四師團長（現滿洲守備師團）土屋中將は本職を免ぜられ轉任
（一月十四日特別通信員發）

●乃木司令官の凱旋
第三軍司令官乃木大將は其司令部を率ゐ本日凱旋せり東鄉大將歡迎以來無二の盛况にして新橋附近最も雜踏を極めたり參内奉告例の如し

北京電報

●澤公の上海出發　（一月十五日特別通信員發）
出洋大臣載澤一行は昨日上海を出帆し日本に向へり

●喇嘛と英太子の往來
喇嘛は目下印度にて英國皇太子と頻りに往來應答を爲しつゝあり

●密約と外部の注意
清國外務部は喇嘛と印度との間に密約の成らんことを恐れ其行爲を探偵しつゝあり

倫敦電報

●佛國銀行の露國貸資
ルタン新聞の報する所に據れは佛國銀行は五分五朱の利を以て二億六千六百萬フランを露國に貸與することに決定せり但し該決定は露國の振出手形に對して同銀行に預りある金貨の輸出を意味するにあらすと

●暴動鎭定の進捗
バルチック沿岸州の暴動鎭定は漸次進捗しつゝあり
（一月十二日發）

●佛大統領の選擧日
佛國大統領の選擧は一月十七日を以て行はるへし

●勞働組合の候補議員
倫敦勞働者組合の評議員會は衆議院議員候補者としてジョン、バーンス氏を推すことに決定せり

●國際關係の斷絶
佛國と南米ベネヂヴイラ國との國際關係は斷絶せり

●電線故障を生す
ベネヂヴイラ國と紐育間の電線は故障を生したり
（以上一月十三日發）

●紙幣發行額引上
佛國銀行兌換紙幣の發行は制限の極度に達せしを以て佛國政府は豫備金貨の乏失を避けむか爲めに銀行の兌換紙幣發行額を八億フランに高むべき案を議會に提出せり

●英國選擧長の報告
英國選擧長の報告に依れは今日迄に自由黨は四十五名統一黨は十二名を選出し自由黨は新たに二十二の議席を得たるものなりと云ふ
（以上一月十四日發）

雜報

●日清協約全文の發表
日清協約愈〻發表せらる其全文即ち載せて本紙第三面に在り其內容本定約三條副定約十二條之を通讀するに略吾人か豫想せる所と大差無く之を大成功といふは當らさらんも前內閣の手際としては寧ろ出來榮え善かりし方ならんか吾人は小村全權以下折衝の任に當れる其勞を深く多とせすんはあらす然れとも副定約十二條中些末の事項の規定せらるゝに拘らす比較的吾人の重大と思惟する二三の遺漏を見るは其稍〻解し難き所即ち奉民鐵道の敷設、鑛山採掘の權、郵便電信局の設置、營口税關の處分、滿洲內地に銀行の設立等は宜しく此次の協約に於て是非とも協定せられざる可らさる緊要條項に非すや而も全文中絶えて其事無き則ち是等は露國の嘗て獲得せる權利なるか爲め本定約第一條に依り當然我の權利に歸し唯た奉民鐵道敷設位を遺漏せるに過ぎさるへきか或は曰く奉民鐵道は副定約第七條に依り重ねて協商を開かるへしと而も同條は單に接續業務と記し其他を言はす暫く記して疑を存す

●前內閣は龍頭蛇尾
前桂內閣の始めて成る世人目するに少壯內閣を以てし任の或は堪へ難きを氣遣はれしも而も閣中智囊の士の濟々として多士なる不言實行を標榜して緘默を守る者年あり遂に日英同盟の成るありて人をして果して其言の違はさりしを信せしめ少壯內閣の力量是に於てか始めて世に知らる尋て日露戰役の起る我計畫は豫定以上の成功を博して桂內閣の黄金時代は蓋し此時を以て絶頂と爲す而もポーツマウスの一敗聲望頓みに失墜して遂に東京燒打事件と爲り尚且引責の道を知らず遂に議會開會に至り其攻擊の鋭鋒を恐れ乃ち西園寺侯に縋がりて後事を托し去るに臨みて遺したる日露講和顛末の一書は更に醜態を暴露して益〻智者內閣の估券を損し朝野をして復た一人の同情を前內閣に寄せしむる者無きに至らしむ何ぞ前には龍頭にして今則ち蛇尾なるや桂內閣果し當初の意氣を存せば何ぞ敗るゝに臨みて光明正大以て男子兒の面目を保たざる（一政客談）

●清國歲計書の發表
清國に於ては從來歲計書即ち歲出入の項目に就ては何等世上に公にする所無かりしが今回戸部に命して本年の歲出入を調査せしめ居れる由なるか右編成濟の上は一般に宣布して國民をして周ねく知悉せしむへき方針を執るへしといふ

●露兵撤去の請求
此程黒龍江將軍より外部へ向け現に哈爾賓地方に露兵駐屯し居り時に自ら相殘殺し爲に商民の災害を被るものあり速に露公使に照會し期日を定めて撤退する樣原電到達せしに付外部は直ちに露公使へ向け其旨照會に及ひたりと

●濟南府の開放
昨紙記載せるか如く山東の開放は愈〻期限通り實行せられたるか山東三商埠中濟南府は開放後沈楚卿朱善田兩監督より巡警規則十四條租界規則十五條を造り巡撫に提出し其の許可を得て十一日より之を施行せり開放の場所は濟南府西關外に在りて東は十五里より西は南大槐樹莊に至る四方標石を建てゝ界となし地を福祿壽喜の四等に別ち之を區別し福字の地處は一年の借地料三十六元祿字の地所は一年の借地料二十四元壽字の地所は十六元喜字の地所は十一元とし一人にて十畝以上を借地するを得す其の借地期限は三十年を以て最長期と爲せり

●澤公等一行の歡迎
東京特電の報ずる如く清國出洋大臣澤公等の一行は昨十五日來朝の筈に付宮內省には鍋島丹羽兩式部官を接伴員に仰せ付けられ尚其乘用として馬車其他を横濱へ差し廻はさるゝ筈なりといふ

●衆議院議長の候補
松田正久氏入閣に付其後任は誰なるへきか政黨兩派の楔として或は憲政本黨に讓るへしとの內議ありしか政友會員中には斷して之を許すへからすとの論を唱ふる者あり候補者としては杉田定一、長谷場純孝大岡育造の三氏早くも算へらる然れとも江原素六氏政友會中に人望多しと

●ロ提督の近狀
ロツゼストウエンスキー提督は近日日本海に於ける敗軍の爲に軍法會議に付せらるへしと云ふ尤も右は單に手續上の形式に過ぎすして政府は提督を海軍大臣に任命せんが爲なりと風說する者あり

●米獨大使館設置
米國及び獨逸に大使館設置につき去る六日勅令を以て在外公館費用條例中別表第一號（外交官、外務書記官在勤俸）を左の如く改正せり

	米	獨
特命全權大使	三〇、〇〇〇	二五、〇〇〇
臨時代理大使增俸	一二、〇〇〇	一〇、〇〇〇
大使館參事官	一〇、〇〇〇	九、〇〇〇

●日露講和顛末
桂內閣が辭職せんとするに際し發表したる日露講和顛末左の如し

一昨年二月不幸にして露國と戰端を開きしより干戈結んで解けさりし者殆と一年有半其間我か國は　聖上の御聖德と臣民の忠勇とに依り海陸共に連戰連捷の功を奏し殊に奉天日本海の二大戰を以て勝敗の局既に決し帝國は常に優勝なる地位に立てり時に米國大統領日露兩國に對して講和を勸告せらる帝國政府も深く國家の利害と人道とに顧み成るへく速かに平和を恢復するを可とし露國亦大統領の勸告に應したるを以て茲に兩國は全權を派しポーツマウスに於て講和談判を開く事となれり

依つて帝國政府は已むを得すして交戰を爲すに至りたる所以の目的と交戰の結果より生したる事項とを明記して大要左の如き講和條件を核定す

第一　露國は日本に於て政治上軍事上及び經濟上卓絶なる利益を有する事を承認し且日本は韓國に於て必要と認むる指導及び措置を執るに當り之を阻害又は干涉せさる事を約せる事

第二　露國は一定の期限內に全然滿洲より撤兵し且同地方に於て清國の主權を害し又機會均等の主義と相容れさる何等領土上の利益又は占屬的讓與とを拋棄すへき事

第三　日本は改革及び改善の保證の下に遼東租借地以外の滿洲南部を清國に附限する事

第四　日露兩國は清國か滿洲の商工業を發達せんか爲め執るへき一般の措置を阻害せさるへき事

第五　薩加嗹島を日本に割讓すへき事

第六　旅大租借地及ひ之に附屬する一切の權利を日本に讓り渡すへき事

第七　哈爾賓以南の東清鐵道及ひ之に附屬する一切の權利を日本に讓り渡すへき事

第八　滿洲横貫鐵道は露國に於て之を保持するを許し將來は單に商工業の目的に限り之を使用すへき事

第九　露國は戰爭の實費を日本に支拂ふへき事

第十　中立港に於ける抑留軍艦を日本に引渡すへき事

第十一　露國は其極東海軍力の制限を約すへき事

第十二　沿海州に於ける漁業權を日本臣民に許與すべき事

等にして八月十日帝國全權委員より之を露國全權委員に交附せり右に對し露國全權委員は翌々十二日を以て回答を爲したるか其中に於て日本の提出條件に全然同意を表したるは單に第四、第八のみにして第五と第九、第十及び第十一に關しては絶對に不同意を表し其他の條項に對しては大體に於て同意なりと云ふも皆多少の條件を附せさはなるし例せは露韓國は國に於ける我か卓絶なる利益と自由行使の件を認むるも同時に露國及び露國臣民は韓國に於て絶對的に他の諸國及び諸國臣民と均等の權利を共受する事並に自由行動權の行使に關しては韓國の主權を侵害せさる事を條件と爲したるが如く或は旅大租借地及び東清鐵道の讓與に就ては豫じめ清國の承認を條件とし殊に東清鐵道に關しては當時日本軍の占領中に屬する部分のみに限り而も清國政府をして之を買收せしむる事を提議したるが如き之なり

茲に於て帝國全權委員と數回の會商を重ね反覆討議の末戰爭の目的に關する條件に就ては大體に於て我が提案の通り滿足なる協定を得たるも戰爭の結果より生する條件中薩加嗹島割讓、軍費償還、抑留軍艦引渡及び海軍力制限の四條項に就ては露國全權委員は其先例なき事或は露國の威嚴に關する事を理由とし絶對に我が要求を拒絶せるを以て帝國全權委員は抑留軍艦引渡及び海軍力制限の二條件を撤回し其結果兩國全權委員は一の妥協案を協議し即ち日本は薩加嗹の北半を還附し露國は之に對する報償として一定の金額を支拂ふ事の案を具し兩國政府の訓令を請へり然れとも露國政府は右の妥協案に應せす結局薩加嗹島の南半は日本に割讓する事を諾するも軍費又は報酬金は全然之か支拂を拒絶し而も尚其前に於て兩國全權委員か正式會議のみならす數回の秘密會議を開き反復疑議を盡したるも協妥に服するを得す此上最早平和の交涉を繼續するの餘地なきに至れり然るに叙上の如く戰爭の目的に基く條件は已に我が希望の通り協定せられたるに拘らす單に戰爭の結果より生する條件の數者に就き我か希望が達せさるか爲め談判破裂に歸し再び戰爭の繼續するか如きは決して帝國の眞正なる利益にあらす將又人道を重んする所以にあらす故に帝國政府は斷然軍費又は辨償金の要求を拋棄し以て極東の平和を永遠に恢復することに決し九月五日講和條約の調印を見るに至れり茲に談判會議錄を發表するに當り該談判の要領を叙す

●領事館の新年會
凡そ營口の宴會といへば酒食の爲めに非ずんば則ち漁色の目的に於てし絶えて高尙優雅にして和氣靄々の間に貴賤老弱の其樂を共にする會合の之れ無かりしは深く遺憾とせる所なりしに一昨夜の領事館に於ける瀨川領事の招宴は則ち稍〻吾人の旨意に近しとすべきか當日招かれて會する者營口在留の紳士淑女約七十名にして軍人あり官吏あり實業家あり夫人あり令孃あり其寄り集へる顔觸れを見て如何に此會合の平民的なるかを知るべく殊に主人なる瀨川領事が三紋羽織の着流しにて最も氣輕るに斡旋せられしは用意の程以て察するに難からず定刻三時といふに至れば來會者已に半ば以上に達し玄關より入りて正面の客室には早や棋局に對して黑白を爭ふ嚴めしき軍人殿もあれば頻りに蓄音器をいぢりて小兒時代に若返れる髯公もあり暖爐際に椅子引付けて三々伍々懷舊の談に漏の移るを知らさるもあれば袞薰ゆらして思案顔に對手を探しつゝあるもあり次なる大廣間には則ち大卓子を置きて哥留多の合戰場とし一騎當千の勇士互に予れ劣らじと殼栗頭より湯氣を立たして勝負を爭ふもあれば傍に夫人令孃の一隊二隊三隊が或はトランプを遊び或は花札をひくあり而して其對側の食堂には則ち酒と肴とを備へ遊びて倦めは則ち來りて飲み且つ食ひ厭けば則ち復た娛樂場に入る斯くして樂しき半日は已に暮れぬ乃ち餘興として福引に移る杉野君壇に上りて一々文句を讀み上げ抽籤の順序に從ひ福引を渡す一讀一下滿場拍手喝采して皆其當意即妙を嗟嘆せさる無し蓋し本日の餘興掛大田領事官補杉野通譯生智囊の棚卸しなりとは或人の蔭言なりき終て我紙上覆面の講談家一遊亭圓鏡氏の落語あり醇々說き去り說き來りて座客をして滑稽爲めに頤を解かしむ憶ふ此日場中の白眉は則ち此君を推さゝる可らす既にして彈琴あり吹笛あり吟聲あり興益〻酣にして笑聲歡聲四壁に溢れ而して食堂には則ち萬歲の聲天地も崩れん許り也隨分聞こし召したる豪傑連の馳せ參じたるか爲めなるべか但だ此間馬脚然たる風情の加はりて劍舞を踊り却て興を醒ましめたるの嫌ひ無き能はさりしは聊か遺憾とすへし而も是れ主人領事か平等の旨意に出つるよりする此會亦一二此者流を缺くへからす吾人は同日の招待會か近時營口稀れに見る所の清談にして而も比較的趣味を有し老幼男女打ち寬ろいて其興情の一般的普遍的たりし愉快の半日を銷過せる主人領事の用意を感謝せせずんばあらず

●日清實業協會第一次總會
豫報の如く同總會は昨日午後一時より日本人會場內に於て開會したり清國側よりは潘玉田葉亮卿氏始め二十餘名日本人側よりは中村遠藤平岡氏始め十有餘名の出席者あり一同議席に就き中村氏の座長藤野山本氏の通譯を以て議事を開始したるが議案は日清實業協會々則にして逐條審議を爲し三四の修正字句の更改等ありて議了したり次て會則に基き委員の選擧に移りたるが津田氏の發起を以て創立委員たりし中村錠太郎井上泰三加藤定吉平岡信吉東永茂東盛和西義順發祥号の八名を推選して承諾を得たり中村氏は會則に基き名譽會員として與倉長官瀨川領事を推薦したるに滿場拍手を以て之を迎へ兩氏を戴くことを快諾せり八名の委員は互選を以て正副會長を選定したるが其結果正金銀行支配人中村錠太郎氏會長に東永茂潘玉田氏副會長に就任せられたり憩て日清兩國實業家は和氣洋々として談話を交へ更に第二次集會を期して散會したり

●實射彈擊演習
當營口駐屯步兵第六十三聯隊第一大隊にては本日より來る十九日迄營口市街南方射擊場に於て明十七より明後十八日迄石橋子射擊場に於て何れも實彈射擊演習を行ふと云ふ因に實見したき人は內外人を問はす軍隊の行動上妨けさる限りは見物差問なしと

●日本人會の新年宴會
昨夜午後七時より第三樓に於て日本人會評議員の新年宴會を開催せり其詳細の模樣は次號の紙上に掲載すへし

●都座の無料義太夫會
永世街都座に於ては一昨日より木戸錢場代等總て無料となし其上素人天狗連の飛入勝手次第と云ふ看板を掲けたれは傍聽者非常に多く又市內の天狗連五六加はり中々の盛况なりと云ふ

▲恐喝取財
情ない人間もあればある者實に是等は同胞の面汚しなるべし原籍石川縣河北郡津幡町字清水現時元神廟街神井洋行事神野良店員林利市郎（廿七）は去る八日元神廟街重聲客棧と云ふ支那人の宿屋に至り同家の亭主を呼び軍政署特務森信一なりと清人風の赤名刺を出し當家は時々賭博をなし居る由故に軍政署に同道せよと恐喝せしかば同店亭主も賭博などの惡事をなせし事はなきも官署に呼び出されては如何なる事になるやも計り難しと後患を恐れ終に彼が云ふまゝに有り金軍票九圓六十錢を與へたるが林は內心大に喜び又も同樣の手段を以て去る十日矢張り元神廟街の德增客棧に至り恐喝の最中を慧眼なる其筋の探知する所となり直樣現場にて取押へ引致の上嚴しく取調べたる所逐一白狀に及びたれば一昨々日一件書類と共に領事館送りとは扨ても情ない代物なり

汽車發車時刻表

▲上行車時刻表

車站名	開車點分（午）	到站點分（午）
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開車點分（午）	到站點分（午）
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
[illegible]	[illegible]	[illegible]

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着時刻
大連 發午前	一、〇〇
金州 着	九、〇〇
[illegible]	一一、二九

上り列車

驛名		着	發
遼陽	午後	三、五〇	四、五五
大石橋		一〇、三三	一一、三五
金州	翌前	二、二〇	三、一〇
大連		五、三三	

營口線

旅順 發午後	二、〇三
大連 着	五、三三

營口線下り列車

大石橋 發午前	一、〇〇
[illegible]	一、五〇

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時
北の風晴し

雜報

●日清協約全文

大日本皇帝陛下及大清國皇帝陛下は均しく明治三十八年九月五日即ち光緒三十一年八月七日調印せられたる日露兩國講和條約より生ずる共同關係の事項を協定せん事を欲し右の目的を以て條約を締結する事に決し之が爲に大〇本國皇帝陛下は特派全權大使外務大臣從三位勲一等男爵小村壽太郎及び特命全權公使從四位勲二等内田康哉を、大清國皇帝陛下は欽差全權大臣、軍機大臣、總理、外務部事務、和碩慶親王、欽差全權大臣、軍機大臣、外務部尚書、會辦大臣、瞿鴻禨及び欽差全權大臣、北洋大臣、太子少保、直隷總督袁世凱を各其全權委員に任命せり依て各全權委員は互に其全權委任狀を示し其良好妥當なるを認め以て左の條項を協議決定せり

第一條　清國政府は露國が日露講和條約第五條及び第六條に依り日本國に對して爲したる一切の讓渡を承諾す

第二條　日本國政府は清露兩國間に締結せられたる租借地幷に鐵道敷設に關する現條約に照し勉めて遵行すべきことを承諾す將來何等案件の生したる場合には随時清國政府と協議の上之を定むべし

第三條　本條約は調印の日より効力を生ずべく且大日本國皇帝陛下及び大清國皇帝陛下に於て之を批准せらるべし該批准は本條約調印の日より二箇月以内に成るべく速かに北京に於て之を交換すべし

右證據として兩國全權委員は日本文及び漢文を以て作られたる各二通を本條約に署名調印するものなり

明治三十八年十二月二十二日即ち光緒三十一年十一月二十六日北京に於て之を作る

特派全權大使外務大臣小村壽太郎(記名)印
特命全權公使　内田康哉(記名)印
欽差全權大臣　慶親王(記名)印
欽差全權大臣　瞿鴻禨(記名)印
欽差全權大臣　袁世凱(記名)印

日清兩國政府は滿洲に於て雙方共に關係を有する左の事項を決定し以て遵守に便ならしむる爲め左の條項を協定せり

第一條　清國政府は日露軍撤退の後成るべく速かに外國人の居住及び貿易の爲め自ら進みて滿洲に於ける左の都市を開くべきことを約す

△盛京省　鳳凰城　遼陽　新民屯　鐵嶺　通江子　法庫門
△吉林省　長春(寛城子)　吉林　哈爾賓　寧古塔　琿春　三姓
△黒龍江省　齊々哈爾　海拉爾　愛琿　滿洲里

第二條　清國政府は滿洲に於ける日露兩國軍隊幷に鐵道守備隊の成るべく速かに撤退せられんことを切望する旨言明したるに依り日本國政府は清國政府の希望に應せんことを欲し若し露國に於て其鐵道守備兵の撤退を承諾するか或は清露兩國間に別に適當の方法を協定したる時は日本國政府も同様に照辨すべきことを承諾す若し滿洲地方平静に歸し外國人の生命財産を清國自ら完全に保護し得るに至りたる時は日本國も亦露國と共に鐵道守備兵を撤退すべし

第三條　日本國政府は滿洲に於て撤兵を了したる地方には直に之を清國政府に通知すべく清國政府は日露講和條約に規定せる撤兵期限内と雖も既に上記の如き撤兵完了の通知を得たる各地方には自ら其の安寧秩序を維持する爲め必要の軍隊を派遣することを得るものとす日本國軍隊の未だ撤退せさる地方に於て若し土匪の村落を傷害するものある時は清國地方官も亦兵隊を派遣し之を操捕することを得、但し日本國軍隊の駐屯地帶の二十清里以内に進入することを得さるものとす

第四條　日本國政府は軍事上の必要に依り滿洲に於て占領又は收容せる清國公私財産は撤兵の際悉く清國官民に還付し又不用に歸するものは撤兵前と雖も之を還付することを承諾す

第五條　清國政府は滿洲に於ける日本軍戰死者の墳墓及び忠魂碑所在地を完全に保護する爲め總て必要の處置を採るべきことを約す

第六條　清國政府は安東縣奉天間に敷設せる軍用鐵道を日本國政府に於て各國商工業の貨物運搬用に改め引續き經營することを承諾す該鐵道は改良工事完成の日より起算し(但軍隊送還の爲め遲延すべき期間十二箇月を除き二箇年を以て改良工事完成の期限とす)十五箇年を以て期限と爲す即ち光緒四十九年に至りて止む右期限に至らば相方に於て他國の評價人一名を選び該鐵道の各物件を評價せしめて清國に賣渡すべし其賣渡前に在りて清國政府の軍隊幷に兵器糧食を輸送する場合には東清鐵道條約に準據して取扱ふべく改良の方法に至つては日本國の經營擔當者に於て清國より特派する委員と切實に商議するものとす該鐵道に關する事項は東清鐵道條約に準し清國政府より委員を派し査察經理せしむべく又該鐵道に依り清國公私貨物を運搬する運賃に關して別に詳細なる規定を設くべきものとす

第七條　日清兩國政府は交通及び運輸を増進し且之を辨易ならしむる目的を以て南滿洲鐵道と清國各鐵道との接續業務を規定せんが爲め成るべく速かに前約を締結すべし

第八條　清國政府は南滿洲鐵道に要する資本の材料に對し各種の税金及び釐金を免ずべきことを承諾す

第九條　盛京省内に於て既に通商場を開設したる營口及び通商地と爲すべく約定しあるも未だ開かれさる安東縣幷に奉天府各地方に於て日本居留地を劃定する方法は日清兩國官吏に於て別に協議決定すべし

第十條　清國政府は日清合同木材會社を設立し鴨綠江右岸地方に於て森林採伐に從事することを承諾す其地域の廣狹年限の長短及び會社設立の方法幷に共同經營に關する一切の章程は別に詳細なる約束を取極むべきことを承諾す日清兩國株主の利權は均等に分配すべし

第十一條　滿韓國境貿易に關しては雙互に最惠國の待遇を與ふべきものとす

第十二條　日清兩國政府は本日調印したる條約及び附則協約の各條に掲載せし一切の事項に關し雙互に最優の待遇を與ふることを承諾す

本條約は調印の日より効力を生ずべく且本日調印の條約を批准せられたるとき本條約も亦同時に批准せられたるものと見做すべし

右證據として下名は各其本國政府より相當の委任を受け日本文及び漢文をて以作られたる各二通の本協約に記名調印するものなり

明治三十八年十二月二十二日即ち光緒三十一年十一月二十六日北京に於て之を作る

各全權記名調印

天佑を保有し萬世一系の帝祚を踐みたる日本國皇帝(御名)此書を視る有衆に宣示す

朕明治三十八年十二月二十二日清國北京に於て帝國全權及び清國全權委員の記名調印したる滿洲に關する條約の各條目を親しく閲覧點檢し之るに克く朕の意に適し間然する所無きを以て本條約を嘉納批准す

神武天皇即位紀元二千五百六十六年明治三十九年一月六日東京宮城に於て自ら名を署し璽を鈐せしむ

御名　國璽

外務大臣副署

東西叢話

▲珍らしき結婚　此の程獨乙國ミユンヘン市に珍らしき婚姻取り結ばれたり或る家の男兄弟三人同じ日に或る家の姉妹三人と結婚式を擧げ三人兄弟の姉妹の一人は三人姉妹の兄弟の一人と婚約を結びたりと云ふ世にも珍らしき結婚と云ふ可し

▲無眼の魚　米國カリホルニア州ウ井ティア在のクルード石油會社の井坑内に此程百許りの魚類湧き出でしが此の魚は不思議にも身体透明にして眼無く其の血液は青色を帶べりとなり

▲印度の蛇害　最近の統計に據れば印度に於ては毎年少くとも二萬人は蛇の毒に罹りて無慘の最後を遂ぐと云ふ

▲煙草は日給の一部　伊太利に於ては陸軍兵士に毎日日給の一部として葉卷煙草を支給するよし

廣告

●報恩講法要執行

説教　十五日十六日兩日間毎日午後一時及七時(營口時間)

信徒の御方々へ一々御案内狀可差上筈の處紙上にて御案内申上候間御繰合御參詣被成下度候也

一月十四日　永世街　矢野洋行向側

營口本願寺出張所

山口縣人親睦會

來る一月廿一日午後正二時(日本時計)

第二回親睦會を西北街高砂に於て開催致候間同縣人諸君御誘引御出席あらんことを乞ふ

尚御出席の諸彦は來る廿日迄に高砂へ御通知被下度候

一當日正二時一同寫眞撮影候に付無遅刻御來會の事
一會費銀五圓御持參の事

發起人

移轉並ニ別嬪新來披露

弊樓儀諸彦の御引立に預り日増に繁榮に向ひ候段難有奉謝候從て是迄の處にては手せまに御座候間今般西の辻西へ入る元小錦樓跡へ引還是迄通り營業仕り候間何卒舊に倍し新來別嬪と共に御引立あらんことを願上候

營口永世街平野町
御手がる會席御料理並に鋤燒
都樓主謹白
御花客樣

明十七日午後三時より二本町日本館に於て第二回臺灣温故會を兼ね新年宴會相開き候間會費銀四圓御持參御出席相成り度候也

但し膳部の都合有之候に付前日迄に電話百卅番日本館へ申込被下度候

臺灣温故會幹事

特別室落成披露

座敷は凡て日本式取扱至極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候

金城ホテル　旅館部

藝妓仲居新來披露

今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名件れ參り候間不相變御引立の程奉願上候

但し凡て純粋の江戸つ子

金城舘料理部

官製口付莨、文房具
和洋酒類
罐詰、菓子
藥品、雜貨
醤油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
卸商
(十)
營口西北街
豐生洋行
(電話十三番)

雜貨
醤油　味噌　清酒
營口西北街
阪神組

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町
日本館本店
(電話百三十番)
奉天小西門外大十字街北入橋町
日本館支店
各位樣

藝妓仲居新來御披露

此度新たに内地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々

營口　高砂ホテル　高砂
(電話一四五)

特別廣告

一月十二日營口旅館料理屋組合總會に於て協議の結果左の通り決議す

一藝妓線香代　一時間銀貳圓四拾錢

但一月二十日より實行す

右之通り改正致候に付組合員に於ては誠實叮嚀を旨とし各店異動なく一定の價格を可申受候に付舊來に倍し御引立の榮を賜らんとを伏て奉願上候依て此段及謹告候也

一月十三日

組合
正取締　谷口今朝太郎
副取締　粕谷忠兵衛

御旅館兼待合所
並にうどん、そば
今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乗降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前
若松家
各位樣

料理　御鋤燒
營口元神廟街
亭主

萬事勉强乗車乗船好位置
營口中央市場前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎
(電話百七十八番)
即席和洋料理　東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

會席料理
營口警務課前南へ入る
三日月

北京
東單牌樓大街路西
扶桑旅館
客室清潔料理鮮新

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店
奉天 池上出張店

謹賀新年

博文館營口代理店
書籍、銘茶
賣藥、雜貨商
大坂屋

今般永世街通平野町筋ヘ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候

浅田飴 あさだあめ

本家 日本東京神田鍜冶町 堀内大藥房

肺癆痰喘氣急傷風痰瘀小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかせ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

標子 木板 料木 發賣

營口青堆子

清水寧木局

澤之鶴は醇良にして風味高尚なり

札幌ビール 朝日ビール 並ニ 政府專賣口付紙卷莨 朝日 大和 酢 醬油 瓶詰樽詰 菓子 罐詰 色々 洋酒類 取次販賣

釀造發賣元
大阪府堺市九間町 本店
北海道小樽湊町 小樽支店
臺灣臺北街書院 臺北支店
臺灣基隆街石牌 基隆支店
臺灣臺南街下南河 臺南支店
北海道函館區辨天町 函館出張店
清國遼陽城內西街 遼陽出張店
清國大連監部 大連出張店
清國牛莊港東營口 營口支店

合名會社 宅

大日本帝國醫科大學模範藥局御用酒
攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒
澤之鶴

滿洲特約大販賣
周 裕和盛號支店
清國營口西北街
電話八十一番

裕和盛販賣品目
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

裕和盛本支店所在地
○支店韓國京城、仁川、木浦、
旅順、鐵嶺、
○支店清國、芝罘
○本日本長崎梅香崎

裕和盛は清商中日本通の張本
澤之鶴は既に定評ある天美祿

雜貨卸商

在元神廟街 營口
關東公司雜貨部

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

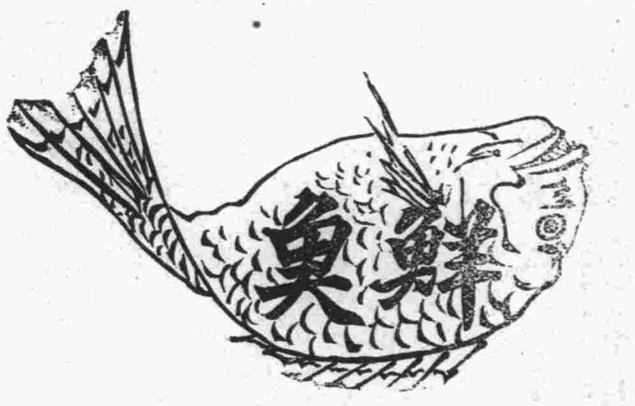
釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

工

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種



幣店儀雜貨專業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候

敬具

營口南永世街百廿七號
森屋洋行
大連大山通り二丁目
仝支店
遼陽西門外
代理店 林洋行
奉天小西門外
代理店 米田洋行

御徳用 新荷着急告 品

○食料罐詰○
○塩魚干魚鰹節○
○乾物色々○
○龜甲万印醬油○
○赤白味噌○
○菓子類数種○
○銘茶各種○

林屋洋行
營口永世街警務課前南へ入

御旅館

奉天
小西邊門內路北
茂林館

日本物品依托賣買幷ニ滿洲各産物毛皮類ノ求ニ應ズ

追テ

家屋宏壯接待優遇

時刻

唐山至天津　塘沽至北京　天津至北京　山海關至北京　上六、〇〇　上六、〇〇　上二、〇〇　上八、〇〇　下　下　下　上　六、四五　五、二〇　二、〇六　……

天津至山海關　唐山至山海關　山海關至營口　溝帮子至新民　上六、二五　上六、〇〇　上七、〇五　上三、〇五　下六、一一　上一一、五八　下四、五五　下六、五七

陽着午後　天上り列車　二、〇六　天津着午前一一、〇〇

驛名　發　着　時刻　大連發午前　七、三〇　奉天着　一〇、四九

營口發午後　大石橋着翌前　十〇、二五　二、二〇

宮門抄

十七日
刑部　都察院　大理寺値日　値年旗引　見三十二名　世中堂謝授爲東閣大學士　恩　那中堂謝授爲體仁閣大學士　恩　繼祿謝管理犧牲所　恩　敏公阿克東阿各假滿請　安　通肯副都統慶祺到京請　安　嗜崇王瀛祥各請假十日　善耆續假五日
召見軍機　慶祺

論說

論東省宜多設習藝所（續）

習藝所之宜設。既如是其深切著明矣。而其措置之方。取締之則。有宜深爲注意。以期有利無弊者。其大要有二焉。

一貧民宜盡數收納也。每見各工藝廠之設。其先亦曰收養貧民。俾得自謀其衣食也。迨積久弊生。而子弟之聰穎者。雖得蒙其教育。其姿性較鈍者。曾不屑以粗淺之藝訓之。民人之狡獪者。或可轉相請託。其貧窶無路者或不免以微賤之故棄之。甚非物與民胞一視同仁之道也。攷各國經濟學家所研究不已者。一曰理財之學。一曰生財之學。理財者利爲所固有。或鬱塞閉遏而不出。壅蔽停滯而不通。有國者導之使流。剔之使出。以足其用。是之謂理財。生財者利爲所本無。而精製造。工技藝。使材之棄者製爲用。物之粗者轉爲精。器之劣者飾爲美。轉以懋遷。以營其利。是之謂生財。生財之道。以發明工藝。收利爲最溥。而工藝亦當區別其等類。不必故謅精奇。盡爲神妙也。凡一切易知易能之事。但使有功於民用。未始不可各按其程度。使之專心致志。雖長薄技。亦可自效其能。又况機器之學。日精一日。以一人之力。而可收百人之功。以一日之勞。而可收百日之效乎。寬其資格。擴其規模。木屑竹頭。皆爲有用之物矣。此其一也。

一獄囚宜遏令肄習也。慨自人心不古。法網雖逃。押候幽囚。囹圄爲滿。雖獄官日給錢米。獄卒不扣分毫。率之犯禁各囚。曾無一飽。且國家錢糧歲入。百項開銷。已形支絀。又復爲若輩所虛糜。甚非節財之道也。况小民則無知而犯法。有司惟循例以鞫囚。或無意寃橫。或有心羅織。厚集怨尤之氣。大干天地之和。則何如善爲處置。俾得自食其力。毋徒其生乎。夤緣東西刑律。雖罰有輕重。有寬嚴。而充工一途。實可補中國刑書之闕。夫莠民犯法。半爲饑寒。被拘盆窘。雖至期滿釋放。仍復妙手空空。謀生無術。故態復萌。不預爲籌之。將畢生不能自振矣。惟有取各色人犯之軍流徒罪名已定者。按照所定年限。分遣習藝。如捆屨織席等業。本所素習。使之復理其舊。其有工上等技術。亦必使各盡所長。既用其力。酌給薪工。將來釋放之日。稍有微積。當易營生。是既治以應得之罪。又予以遷善之資也。近趙到奉。於習藝一事。甚費經費。其即此意也乎。然東省地廣人稠。加以大亂屢經。生機未復。小民之作奸犯科者尤衆。尤宜由省而府。而州縣。到處設立。臨事制宜。寬嚴并用。將不但民俗可漸至馴良。而工作必日有起色也。此其二也

以上二者。雖不足盡藝政推行之法。而養民敎民之道。固不外乎此也。試舉一例言之。英吉利三島之國耳。計其民之衆。不過德法之等夷。計其地之廣。不如俄美之廣漠。而利盡四海富甲天下。雄視五洲。則以俄法德美。猶不免爲半製造之國。而英則全製造也。以全製造而遇半製造。其稱富稱強。不亦宜乎。我而仿照其法。人不問貧富。罪不論有無。而一以習藝之事。振興之。鼓舞之。勉爲全製造之國。數年以後。安知不駕列强而上也哉。（完）

中外要聞

●英使請求賠償　外部人云日昨英國駐京欽差照稱上海會審英員應即撤退惟此次受華匪之滋擾所有損失貴國不得辭咎應照賠償等語聞外部堂憲以會審華員辦理頗堪勝任又不能不予以小懲至於賠償一節已向上海道去電俟該道查清覆電再行照覆英使

●優待親王　日昨　皇太后派李總管蓮英至慶。府看視賞給人參藥餌並傳　旨溫慰云該邸因　朝廷艱難之際勤勞過度遂致　疾着御醫莊守和每日診視該邸務當愼加頤養云云今慶邸喘嗽微減精神尚見虧短然病勢不至有礙矣

●擬設司員肄學館　官塲消息吏兵戶刑工禮外商警學十部均有設立司員肄學館之說因恐派員赴各國學習延遲年月不如就近聘請洋員指授以爲得便云云

●擬辦女醫學堂　外部大臣擬定一摺係奏請添立女醫學堂專習中西醫法並參酌各國紅十字會章程辦理此摺不日即行具奏

●條約秘密　中日議約條欵所知者中國議約三大臣及唐紹儀金邦平氏簽押原稿具奏已然留中外面各報所登均屬懸揣昨外部堂憲在署宣言此次秘約雖有知者亦不准在外洩露並擬照會日欽使電告本國亦不宜外洩云

●外部電致伊犁　外部電致伊犁將軍署謂新疆伊犁察哈爾索倫布魯特等處地方遼闊兵力單薄邊防最爲吃緊貴將軍宜速體察邊地情形應將原設官缺裁改或奏調移駐得力之員務須認眞整頓所有練兵一事尤爲當務之急趕緊招募俾各訓練其與學開鑛亦請實行舉辦務涉疏忽各語

●浙省匪耗　聞浙江巡撫電致政府云杭州省垣內外時有巢匪黨類潛謀藏匿業由宗子材太守招勇四棚分紮江干湖墅及緊要之地晝夜梭巡以資保衛艮山門外筧橋下首向有武備練軍四旗駐紮該處與臨平鎭相近亦深恐海甯匪黨就近竄匿故該軍每夜派出一哨在附近一帶搜捕云

●吉林電致外部　聞吉林達留守電致外務部聞悉爲哈爾濱附近時有俄兵往來無定擾累居民搶掠商貨迭據交涉局申詳與該國武官交涉均置不問請照會駐京公使理論飭禁兵弁不得有擾害商民情事云云

●擴充學舍　聞京師願學堂內設有八齋刻間學生二百餘名未傳到之學生一百餘名又擬添設兩齋延聘英俄教習二員房間不敷應用稟請管學大臣榮尚書擬將各省關卡捐助之款酌提若干以備添建房屋工程需用昨已蒙批准定期開工云云

●學部招選供事　聞學部擬仿照外商兩部辦法招選供事百名專供繕寫已議定先由各館調取數十名再酌留學務處之供事數名以資熟手聞各處供事頗願呈請効力當差云

●搭放銅元　聞戶部現已知照各省自明年正月起凡文武官員俸廉恭以銅元一成搭放並擬定每兩照給銅元一百三十枚云云

雜報

●日清實業協會第一次總會　本會於日昨午後一鐘在日本人會樓上開第一次總會中國潘玉田葉亮卿等二十餘人日本中村遠藤加藤平岡氏等十餘人均出席席次座長中村君以藤野山本君爲通譯議商本協會之會則逐件詳審於條件字句間略加改正即按照會則選舉委員由津田氏發議創立委員推選中村錠太郎井上泰三加藤定吉平岡佳吉東永茂東盛和西義順發祥號等八名均即承諾中村氏復按本會則推與倉長官瀨川領事爲名譽員聞會人皆鼓掌稱善又八委員互選定正副會長遂以正金銀行中井錠太郎爲正會長以東永茂潘玉田爲副會長此次開會兩國實業家均歡迎之於議事後又互相談話方行散會云

●萬國演說會開會　本館萬國演說會已定於本日開會其會正會員等齊至火神廟演說想此後本埠風氣必日形發達矣

●勸政愛民　聞義州來人稱前月州尊馬公赴四鄉查看一切披星戴月不辭勞苦每到一村聚集耆老諭以辦巡警之保護查戶口之清釐立學堂以教化勸栽種而興利諄諄誥誡不憚舌敝脣焦并隨時給小告示每屯一張云本州下鄉周歷四方校閱巡警勸立學堂淸查戶口除暴安良多栽樹株利等田桑勿打官私免去遭殃賭盜棍匪一律拿綁國課稅捐不可違抗爾等百姓凜遵莫忘

●義州學務　聞義州學堂大有起色城裏蒙養高等兩學堂一五十人一三十人均有進步四鄉由前次考取貢監生等勸立三十五處均照章開辦學生十餘名不等又調查民學堂二百廿一處學生一千七百餘名惟師範甚少現已招考師範生四五十名開案即入館肄業師範教習由北洋聘請正月上旬準到如此辦理該州學務其將蒸蒸日上乎

叢談

●奸案奇談　寧波風俗婚娶之時凡親友皆得看新婦自頂至踵首飾衣服一一評量有慈谿某大姓娶寧波某大姓女爲媳新郎有同窗友某甲亦巨室子也往觀新婦心悅其貌百計思致之乃賄其隨嫁女僕另使男僕僞爲自寧波來詭云新婦之母患病思女甚懇早日滿月翁姑以其母病通融未及半月許其歸寧即令來僕並隨嫁女僕伴送慈谿距郡城四十里例用肩輿甲并賄輿夫直送至郡城後市觀音菴此菴尼姑本不潔如娼妓與至菴前新婦謂此非吾家不肯入男女僕均詭稱太太在此養病新婦乃入未幾甲自房中出而調戲新婦不從甲施強暴女極力撐拒相持一日一夜婦固力竭尼與女僕幇同按縛遂爲甲所污婦惟飲泣而已閱數日翁姑飭紀具禮物往婦家候病至則婦母無恙告以新婦因探病先歸則婦家茫然不知於是女家控男家謀斃其女男家控婦家藏匿其媳官詳詢顛末知其中有異拘女僕無踪輿夫亦逃匿乃懸賞飭役密飭時隔月餘杳無信息甲探知其事略難久匿乃另雇兩人於夜間潛取輪行之空輿肩女至母家門前而逃母家詳詢其女始悉其事以女輿送壻家以婦已失身不受仍還女家女家亦不受卒流落爲娼甲賄官及女僕與夫幾及兩萬金訟始寢後有宦於寧波者知其事納婦爲小星而去

豫報

昨日の氣溫　最高温度三十五度六　最低温度十四度八七

NEWCHWANG, TUESDAY, JAN. 16, 1906.

The south wind has loosened the ice once chained together below the "Manchuria House," since last Sunday, on which, the ice having been largely cleared, the crossing of the river could be resumed in a junk with comparative ease. The floating ice-blocks coming very much in evidence yesterday, the feat of crossing has relapsed into a risky adventure, as it has been so for a month, with few brief relieving spells far between. The port has been the loser all the while, on account of communication with the other side of the river having been thereby considerably impeded.

In the early part of the first freezing—over for a day and a half, that is on the morning of the 12th. inst., a native was seen venturing over the ice across and, about midway, disappearing all of a sudden to be seen no more beneath the ice that must have failed him and given way under his weight.

There was held one of the regular meet of hounds last Sunday morning, at the usual hour of 11. The weather being mild, although rather too windy, more than a fair turn-out participated in the lively sport.

Last Sunday, the 14th., was Russian New Year's Day. Mr. Nikitine, Acting-Consul, received congratulations of the occasion from a circle of well-wishers, at his new quarters previously occupied by the French Consular Agency. A few Japanese callers were accorded by the courteous official the privilege of tasting the choicest vodka for the first time.

Mr. Nikitine, being a good horseman, has sent to Peking for his favourite mount, which, while on its entrained way to Newchwang, gave the slip to the Chinese hostler, somewhere this side Shanhaikwan, on the 13th. last. It is to be hoped that the faithful groom will bring his truant charge safe to its master.

In the cavalry raid on the Army Stores at Niuchiatun on Jan. 12th. '05., a Russian sub-lieutenant of sappers of the railway Battalion named Alexander Trusoff took part with Gen. Mishchenko's Division. The sub-lieutenant was reported missing with 19 of his men and nothing further has been ever seen or heard of him since. His mother Mme. Trusoff, from her maternal anxiety, has applied at the British Consulate, St. Petersburg, for such information on the fate of her son as may be gathered locally at Newchwang.

Mr. Fulford, at a request from the British Consul at the Russian capital, has instituted a painstaking inquiry into the mystery. It is found from the Japanese authorities at Niuchiatun that, among the 64 bodies left on the field at that time, only one was recognized as that of an officer, but other than one of sappers. Even this recognition was based simply on the officer's overcoat it had on. Not a Russian prisoner having been taken in the encounter, the Japanese had no other means at command to identify each remains. It has been further learned that the Russian raiders gathered quite a large number of the killed in the night attack into a Chinese house standing along the way of their hasty retreat and cremated them.

Mme. Trusoff deserves sincere sympathy in her anxious suspense, for the results of investigation will bring her little comfort by materially failing to throw light upon whether son's remains, if he really got killed that night, have been in the cremated lot, or else, due to the absence of distinctive marks of the rank on them, have been buried with the men's corpses.

We are informed that Mr. H. F. Bush is going to leave for Hankow to-day, presumably for the double purpose of pleasure and business. We wish the gentleman a pleasant travel and peedys return.

Mr. and Mrs. Thunder arrived from Tientsin yesterday afternoon and are guest at the "Blarney Castle."

The Niuchiatun Garrison will hold a target practice at their Rifle-Range to the south of the town of Newchwang, to-day (the 16th.) and also on Friday next (the 19th.), beginning as early as 8 a.m. To-morrow and again on the 18th. inst., the Rifle-Range at Shih Chao Tze (石橋子) will be similarly engaged. It is to be hoped that due caution that is sure to be exercised by the warning authorities and the warned public will preclude any accidents from overtaking the innocent people.

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 柏屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

旅館 千代田旅館 永世街甲八十七號 店主 高橋きみ

料理 沖の島 永世街十八號 店主 中川猶三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 廣田久二

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

南洲旅館御用達商 濱田新之助 南永世街拾九號

旅館 彌生館 永世街百六十七號

料理 やよひ 永世街甲百六十七號 店主 宮下只七郎

料理 滿月 平野町百八十二號（電話二六二） 店主 青木勝惠

料理 滿洲樓 西北街二百五十二號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

料理 松迺家 元神廟街 矢野洋行向ひ 店主 山本壽三郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

旅館 大和館 永世街六號 店主 前田九一郎

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 松月亭 營口元神廟街第一四三

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

琴三味線處 并に張替附屬品一切 永世街八十五號二本町角 土生香樂堂

和洋御料理 第二東京館 元神廟街 店主 松田平四郎

東京一流 かき飯

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團捷

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽俱樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

正札 特別廉價 雜貨 賣出し

一婦人髪道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一鑵詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋 永世街森病院隣 和清洋行 志田ます

●白米 ●石炭 ●干魚 ●糯白米 ●木炭 ●鹽魚 ●建築用材木 ●洋釘 ●亞鉛板

營口永世街八十號 喜久洋行（電話百五十二番）

卸小賣致候間御用の節は電話又は端書にて御通知次第直に持參可仕候也

酒保品 諸雜貨 御商 神崎洋行

營口永世街甲百廿七號警務課前

▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

倉庫業

倉庫位置 營口綏定門街（公和窰）院內

郵船會社碼頭ヨリ西二丁余 商船會社碼頭筋向イ 河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸場ゲ便最適當ナル位置

新玉號倉庫部（電話一五七號）

東洋醫院 竹村旅館ノ側ヨリ河岸ニ通ズル横町ノ中央角（永世街十八号） 午前宅診午后往診入院隨時 山田長

奉天日本旅館 瀋陽館

家屋宏壯清潔 接待優遇懇切

全時ニ開放 開業 奉天小西門外大街路北

御旅館 天津 芙蓉館 駐屯軍御用 並西洋料理（電話四十一番）

加藤洋行

酒保諸君急告

幣店儀今回酒保品全部相片付け度特別大見切賣致す可く候に付至急御來店の上御相談被下度願上候也

●麒麟正宗 ●諸罐詰類 ●卷紙狀袋 ●菓子砂糖

其他諸雜貨一切取揃へ誠實を旨とし精々勉强仕る可く候間多少に拘らす御用命被下度奉願上候

S.KATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin,
General Store-keeper & Commission merchant

酒 菊正宗 新着!!

營口 明覽 半定價にて差上ます

祝新年 內外の當

雜貨商 加藤洋行（電話口番八十）

本店 天津日租界 支店 營口 北京 出張所 遼陽 大阪

爲替相場（一月十二日）

日本向 軍票百圓に付金九十五圓五十錢
上海は 百圓に付六十七兩二錢五分
天津向 公百圓に付一百〇八圓五十錢

日本品最近物價表 加藤洋行調査

酒類 菊正宗	三斗九升入	銀二十圓
麒麟正宗	四斗四升入	同二十七圓
正宗	四斗入	同十五圓
鑵詰 鮪	四打入	同十三圓
ラッキヨ	五打	同十四圓五十錢
辛子漬	四打	同九圓五十錢
フキ	全	同八圓
煉ミルク	全	同十八圓
石炭（飯塚工程局）一上等塊炭	一噸ニ付	銀十八圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy, 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙